

8月のはなし

暑い日が続いていますね。夏がくると思いだすことがあります。私が星の城幼稚園に20年以上前に勤務していたころのことです。

夏の日に「宇佐美先生、これ。」と言って、ある男の子がいちじくの入ったビニル袋を手渡してくれたのです。「先生がいちじくが好きだから持っていきたい。と言ったので持ってきました。」とお母さん。

そこで思い出しました。ある日、通園バスに乗車していた時です。「どんな果物が好き」という話になりました。いろいろな果物が出てきました。「宇佐美先生は何が好き？」と聞かれて「先生はいちじくが一番好き。」と答えました。するとその中の一人が「ぼくの家がいちじくの木があるよ。」「えーいいな。」などと話したことを。

そのことを覚えていて「宇佐美先生がいちじく好きだから持って行く。」と言ったそうです。

それから卒園するまで一番に食べごろになったいちじくを持ってきてくれました。卒園で終わりかと思っていましたら、弟君がまた持ってきてくれました。一家で「カラスが食べないといいね。」などと話していることも伝えてくれました。それからずっと、次の弟君が卒園するまで、夏が来るとおいしいいちじくが届きました。途中でいちじくの木を切る話もあったそうですが、卒園するまで待つてくださったそうです。そんな、思い出とともにもっともといちじくが好きになりました。

子どもは大人がふと話したことを覚えていることがよくあります。私たち大人も子どもに対して考えて話をするとともに、子どもの言葉をしっかりと受け止めなくてはと思います。

夏休みは家族で向き合う時間が沢山あります。子どものつぶやきをしっかりと受け止めてください。家族でいろいろなことを話し合ってください。結構、しっかりとした意見を持っていることがあります。

どうぞ、楽しい夏休みをお過ごしください。



園長 宇佐美すみれ